

軽スポーツ教室も始まりました

7月から「軽スポーツ教室」が始まりました。7月はコロナ感染防止のため、小学生を対象として10日と17日の2日間に分けて行いました。

8月以降につきましては、8月21日(金)・9月17日(木)・10月16日(金)・11月20日(金)に開催の予定です。参加者把握のため、お手数ですがその都度、事前申し込みをお願いいたします。事前申し込みのない場合は参加できませんのでご注意ください。案内は各戸へ配布させていただいています。

- ◆場所：江名子小学校 体育館
- ◆時間：pm 7時30分～8時30分
- ◆持ち物：上履き・タオル・飲み物
- ◆定員：50名
- ◆申込み：毎月10日
- ◆参加費：無料

※密を避けるためゲームは持ち込まないようにしてください。

【体育委員会】



体育館等の使用について

体育館や第2体育館のご利用に対しましては、新型コロナウイルス感染予防のため以下の事項を守ってご利用くださいますようお願いいたします。

- 利用前後にはしっかり消毒・手洗いをする
 - マスクを着用する(運動中は可能な範囲で)
 - 三密(密閉・密集・密接)の回避に努める
 - 利用者名と検温結果を記入し提出する(参加者全員)
 - 所定のチェックリストで確認し提出する(代表者)
- (まち協事務局前に準備)

【本部】



「地域活動運営補助金」をご利用ください

地域の皆さんに元気に活動を続けていただくために

～「地域活動運営補助金」をご利用ください～

校区でスポーツや文化活動等のサークル活動、またボランティア等の実践活動を行っている諸団体の活動に対して、少額ではありますが、まち協から運営を支援する補助金制度ができました。

補助の対象となるのは、次のような要件を満たす団体です。

- ① まちづくり方針の具現に向けて、スポーツや文化活動、またボランティア活動等の実践活動を行っている。
- ② 江名子校区の住民を対象に組織、構成されている。
- ③ 年間を通して計画的、継続的に実践活動を行っている。
- ④ 一定の構成員で組織的に活動し、会費等により適切に会計処理している。他

ご利用いただくには所定の手続きでの申請・報告が必要ですので、詳しく知りたい方はまち協事務局までお尋ねください。

【本部】

天生湿原で癒しのひととき

一年の半分を雪に閉ざされる天生峠は、飛騨市河合町と大野郡白川村の境で、泉鏡花の小説「高野聖」や東山魁夷画伯「山雲」の舞台になっています。この峠を中心に、高山植物群、高層湿原、ブナ原生林、深淵な渓谷など雄大な自然を体感できます。雪解け直後の6月から9月中旬頃まで四季折々の花々に出会えます。



「初穂山コース(約6時間)」 「木平湿原周遊コース(約4時間30分)」を予定していますので、いずれかをお選びください。詳しくは、回覧の案内をご覧ください。

- ◆期日：8月9日(日)
- ◆時間：am 6時30分
- ◆集合：江名子小学校 集合
- ◆定員：20名
- ◆メ切：7月31日
- ◆参加費：小学生以上 3,500円(幼児 500円)

※当日はマスク着用をお願いします。また熱のある方はご遠慮ください。

【家庭教育委員会】



スタンプラリーの開催と敬老会の開催

恒例となっております「町内対抗運動会」は、市の「イベントや集会等の開催についての留意事項」に準じ協議した結果、参加者が多数であることや特定が困難であること、また、「三密」の環境が避けられないこと等から、残念ながら本年度は中止とさせていただきます、代わりにスタンプラリーを行います。詳細は次号、またはホームページやラインでお知らせいたします。【体育委員会】

また、「敬老祝賀会」につきましては、「三密」を避けるために、9月20・21・22の3日間に分散開催する方向で検討を進めております。【見守り推進委員会】

今後も事業推進に当たっては、可能な限りの感染防止対策を取りながら展開していく予定ですので、ご理解とご協力をお願いします。

今年は「ステイホームラジオ体操」

今年の夏休みラジオ体操は、各町内で集まっての開催は中止としましたので、各家庭で「ステイホームラジオ体操」を実施していただきますようお願いいたします。

【子ども会育成委員会】



市民意見交換会

元年度「地域別市民意見交換会」の概要報告書が届きました。昨年の11月7日に開催された市民意見交換会には、町内会長さんはじめ29名ものみなさんが参加してくださいました。出席者の「子育て」「福祉」「生涯学習」「消防」「危機管理」等の様々なご意見や要望について対応がまとめられています。

詳しい内容をお知りになりたい方は、まち協事務局までおいでください。

【町内会部会】

理事会及び危機管理委員会の開催・避難所の開設

7月6日、理事会及び危機管理委員会が開催され、本年度の事業について確認しました。また、市民防災研究会の岩茸伸一氏より「コロナ禍における避難方法・避難所開設」について講話をお聞きしました。

8日には警報発令に伴い、江名子小学校に避難所が開設されました。コロナ感染予防のため新たに「事前受付」が設けられ、健康チェックを受けてからそれぞれ「一般受付」「専用受付」へと向かうようになりました。新型コロナウイルス感染症対策をふまえた避難行動については、危機管理委員会での検討等をふまえて情報提供していく予定です。今回は、3家族8名の方が避難所を利用されました。また、避難所で利用して下さいと、スーパーさとうさんからペットボトルのお茶を2ケース寄贈いただきました。



今年度は、乳幼児親子さんのみを対象とした行事も取り入れていく予定です。

●関係団体の特徴を活かした江名子ならではの事業・講座を開いてほしい。

○回答

数年前までは、しめ縄づくりも行っていましたが、今年度、江名子バンドリの方に協力していただき、子どもたちに「縄ない」などを行事にとりいれたらどうかと、上記e n - t o p 委員会で提案しています。

皆さまからのご提案をお待ちしています。

<第6号議案について>

●教養講座の内容ですが、お酒を飲むことが必要な講座とは思いませんがいかがなものか。

○回答

ビール講座・日本酒講座・ワイン講座などの他に、主な講座として、寄せ植え講座・ハーバリウム講座・味噌づくり講座・恵方巻づくり、旧江戸街道トレッキングでは、史跡説明の講習会も兼ねておこない、江名子・山口の史蹟講習会・防災のためのハザードマップ検討会・地域づくり学習会・避難所運営学習会・ボーリング大会・ドッチビー大会・グラウンドゴルフ大会・など体力増進を目的とした講座も開催しています。

ビール講座・日本酒講座・ワイン講座などは、お酒を飲むことが主な目的ではなく、地域の人・ご近所の人と楽しく語らいながら、心豊かなひとときを過ごすことは、地域づくりの一助ともなり、人と人との絆を深め、まちづくり協議会の趣旨も保てるものと考えて、開催しています。

●町内等の意見や要望(運動会の種目や運営について)が、まち協にうまく伝わり反映されているのだろうか。

○回答

運動会につきましては、昨年度は台風接近で、本年度はコロナウイルス感染予防のため中止となりましたが、参加しやすい種目や魅力ある種目、また運動会に代わる事業についても検討をすすめています。

<その他>

●もっと早く取り組みをしてほしい。

○回答

事業につきましては、各部等で計画立案し役員会で決定の後、各町内回覧やHP、広報「え～まち」で案内させていただいています。各町内での文書配布・回覧は2週間程度以上かかるものと考え、事業の一ヶ月以上前までには文書を届けられるように努めています。まち協の組織形態上困難な面もありますが、可能な限り早め早めに取り組んでいきますのでご理解下さい。

また、え～まちのホームページにもイベント情報など発信を行っていますので、是非ともご利用いただくとともに、LINE(ライン)にまち協グループの友だち登録をしていただき、LINEから情報発信を行っていますのでご利用をお願いします。

令和2年度 総会 【質問・意見と回答】

◆本年度の総会について

4月25日に開催を予定しておりました「令和2年度江名子校区まちづくり協議会総会」は、新型コロナウイルスの感染防止の「緊急事態宣言」が発令中ということで、構成員128名の内、114名の方から「委任状」のご提出を頂き総会を開催させていただきました。皆様方のご理解ご協力ありがとうございました。

委任状の提出にあわせて、まち協へのご要望やご質問をお伺いしましたところ、下記のようなたくさんのご意見・ご質問を頂きました。つきましては、貴重な皆様のご意見等に対し、まち協から回答させていただき、よりよい江名子校区をめざして、今後のまち協運営に反映させていただきます。これからもよろしくご指導賜りますようお願い申し上げます。

【まちづくり協議会へのご要望・ご意見・ご質問】

<第1号議案について>

「事業活動報告について」

本部・各部・各委員会と重複する項目が多く見づらく理解しにくい。すっきり一覧にまとめたらどうか。

○回答

来年度の総会資料作成時に、できるだけ見やすく、理解していただけるような事業報告書の作成に努めていきます。

<第3号議案について>

「町内対抗大運動会の開催について」

- 今日の状況を鑑み町内対抗はなかなか難しいと思う。
- 例えば紅白対抗にするなどにしたらどうか。
- 高齢化に伴い競技に参加できる人を探すのが難しい。

○回答

昨年度よりen-top委員会等にて、町内対抗大運動会のあり方や参加していただきやすい競技、魅力ある運動会のための開催方法等について、協議してきました。今年度も、引き続き協議を続けていきます。

さらに、町内対抗運動会以外にも視野を広め、運動会に代わるスポーツ大会などの導入についても話し合いを続けていきます。

※“en-top委員会”とは、若者や女性たちが自主的に集まって構成している委員会です。よりよい江名子校区実現のために、毎月1回程度集まり自分たちが出来ることから始めようと提案を出し合い、実行にいたるまでの具体的な方法などについて取り組む活動を行っています。

「江名子校区まちづくり基本計画改正(案)について」

●江名子校区の概要(改正後)

江名子校区まちづくり協議会は、江名子校区の地域で構成されており、こどもから大人まで同じ地域の人々によって生活が行われています。

農業が盛んで田園地区や工業団地、住宅地区、新興住宅地区、市営住宅地区と多様性に富んでいる。高山市第八次総合計画により市道松之木一千島線の開通も数年後に控え、交通路も大きく変わろうとしています。…としたらどうか。

○回答

ありがとうございます。役員会に図り検討いたします。

<第5号議案について>

- 危機管理委員会の委員さんは、前年度の各町内会長がスライドして上がっていますが、各町内会において町内会長さんの仕事役割の負担の多さから、なかなか手が見つかからない…。激務を終えたその次の年にまたまち協の委員として…というのは負担になるのではないかと。

○回答

各町内会役員さんには、まち協の運営をご支援いただきまことにありがとうございます。ご存じのとおり、江名子は災害に弱い地域でもあります。毎年、行っている防災関係の事業や地域づくりなど、単年度ごとの委員さんのみでは、毎年毎年、基本的な知識の繰り返ししかできません。

防災・避難所運営などの知識や体験を深めていただくことによって、江名子校区の防災対策が整っていくのだと思います。

そのため、あえて危機管理委員として役割を担っていただいておりますが、危機管理委員会は年間に3～5回程度の委員会と学習会の開催にご出席を頂いています。

- 危機管理委員こそ、フットワークの軽い次代を担う若い方にやっていただきたい。

○回答

各町内会の災害弱者の把握などは、民生児童委員さんと町内会役員さんですので、災害が起きた場合、まずは高山市から町内会へ連絡が入ります。町内会役員さんは危機管理委員会になくてはならない存在です。

昨年度から、en-top委員会を発足いたしました。よりよい江名子校区を目指して、まちづくり協議会の事業の検討や提案、地域の課題の把握と、その解決方法について探るなど、若い男女が集まり、みんなで話し合う委員会です。この委員会の中や、まち協総務部会などで今後の課題として取り組みます。

- 社教委・家庭教育委員に統一吸収合併してしまってもよいのではないのでしょうか。

- 家庭教育委員を、社教部会の中でもっと重きをおいてもいいのではないかと。

○回答

基本的に社教委他は各町内から選出されていますが、家庭教育委員とen-top委員は、まち協の組織の中では唯一、地域の方々のご厚意で支えられている委員会です。従いまして、これらの委員会は立ち位置が違いますので、統合するのは今のところ困難と思われませんが、今後の課題として取り組みます。

社教部会を構成する、社教委員会・広報委員会・体育委員会・子ども会育成委員会・家庭教育委員会は、それぞれまち協の大事な事業を分担し支えている大切な委員会です。

- 女性委員会の姿が見えない。

- 事業は他の部会、委員会との協働もしくはお手伝いになっている。

- 体育協力員のような位置づけに変更しバザー協力に特化した活動にし、各町内会からの選出の負担を軽くしてはどうか。

○回答

今年度の総会資料を丁寧に見てくださり有難うございます。

今年度から、女性委員会の事業は社教委員会と協働で活動して頂いています。女性委員会の大きな役割は夏祭りや運動会、その他必要に応じたバザーの出役とさせていただきます。これまでより負担を軽減させていただいたかと思います。

- 各部・各委員会がもっと自立独立して事業を進めてもいいのではないかと。

○回答

まち協の最も大きなねらいとして各部会・委員会の事業推進があります。しかし、単年度毎の委員の入れ替わり(社教委は2年)なので、自主的・独立した事業推進を望むことは、各委員さんへの負担増大につながります。

自立独立は困難を極めますが、各委員さんがまちづくりのための意識をますます高め、積極的なまちづくり事業への取り組みをして頂けるよう心掛けています。

- 親子で楽しむ事業は4つ提案されていますが、年齢(子どもの)層が限られています。小学生以下の乳幼児親子さんたちを対象にした事業を入れていただきたい。

○回答

高齢者サロンを毎月おこなっていますが、この時には乳幼児親子さんの参加も募り、親子さん向けレクリエーション・ハンドマッサージなども取り入れています。